

中世・身体の

自由と拘束

安寿と厨子王の物語を前提として

長野県立歴史館館長の笹本正治氏を講師に迎え、人身売買が横行していた乱世の時代を知り、未来を考える歴史講演会を開催します。



安寿姫と厨子王丸の供養塔

講師 長野県立歴史館館長
笹本 正治 氏

日時 令和元年 **9月21日** (土)
午後2時開演 (午後1時開場)

定員 600人

会場 高田公園オーレンプラザ ホール
入場無料、事前申込み不要です。



ささもと しょうじ
笹本正治氏
プロフィール



1951年山梨県敷島町(現甲斐市)生まれ。博士(歴史学)。
1974年信州大学人文学部卒業。1977年名古屋大学大学院文学研究科博士課程前期終了。1977年より名古屋大学文学部助手。1984年より信州大学人文学部助教授。1994年より信州大学教授。2009年より2015年まで信州大学副学長。2016年より長野県立歴史館館長。専門は16世紀を中心とする日本史学。職人の歴史や災害の歴史など。

以下を代表とする約50冊の本を書いている。
『甲信の戦国史—武田氏と山の民の興亡』2016年
『中世の音・近世の音—鐘の音の結ぶ世界—』2008年
『災害文化史の研究』2003年
『山に生きる—山村史の多様性を求めて—』2001年